

1 【活動の趣旨】

本校では、学校のそばを流れる葉山川を基点とした環境学習「葉山川学習」を全学年で行っており、その学習においては多くの地域の人々の協力を得ている。また、5年生が取り組む「米作り体験」においても、同様に多くの地域住民の支援と協力を得ている。つまり、これらの学習は地域の支援なしには行うことができないものである。また、本校児童は、これらの学習を通して地域の自然環境の素晴らしさと地域の人々の温かさにふれ、この地域で育つことの喜びさえ感じるものと考えている。



【苗作りの話】

2 【特徴的な活動内容】

○米作り体験（5年生）

この学習は、田植えからスタートすることが多いが、本校では、田植えまでに地域の方に来ていただき、「もみを発芽させ苗を育てる工程」「環境こだわり米を作るための取り組み」について話を聞く機会をもっている。

手間はかかるが環境を考えた米作りへのこだわりを聞かせていただくことで、米作りの苦労や工夫を理解し、環境問題への関心も高めることができた。

○葉山川生きもの調査（5年生）

地域で葉山川の環境保全活動をしておられる市民団体の方と一緒に、葉山川の生き物調査を行った。水質調査の方法や生き物の捕まえ方について説明を聞き、一緒に活動を行った。見つけた生き物について解説をしていただく中で、いのちの営み、豊かな葉山川の様子を知ることができた。中には外来種の生き物もあり、固有種の生き物が食べられているという実態も学んだ。



【生きもの調査】

3 【実施に当たっての工夫】

「苗作り」や「環境こだわり米」の話では、実際の苗やもみ、田んぼの水や植物、有機肥料の袋など実物を用意して、子どもに分かり易く話をしていた。

4 【事業の成果】

- ・地域の方の地元愛や環境を大切にしようという思いにふれ、子どもたちは自分にできることを考え、意欲的に学ぶことができた。
- ・自分たちの学習のために、たくさんの準備をしてくださったことを知り、敬意と感謝の気持ちを強くした。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

葉山川学習で、校外の自然観察を行う際に、外来種のクモやカメなどの危険生物に留意し、今後も安全に学習活動ができるよう、学校と地域が連携して環境整備をしていく。